

平成 30 年度収支予算

1. 平成 30 年度の予算編成方針

日本山岳会は、この数年、会費収入の減少によって経常的な赤字を計上しているが、赤字解消のために数年前から様々な施策を実行しつつある。平成 30 年度はこれらの施策の効果が結実する年として、赤字解消を実現したい。

平成 30 年度予算の経常収支の見込みは 41 千円となり、ほぼ損益均衡のゼロベース予算となっている。「お友だち作戦」の実行による会員数増加による収益改善と継続的に行っている全般的な費用削減の効果が実現したことによる成果である。

2. 経常収益

会費収入 54,000 千円、入会金収入 4,500 千円のほか、事業収益を 12,700 千円、受取寄付金・助成金等として 15,550 千円を見込んでいる。さらに、その他事業収益を加えて、経常収益総額を 90,665 千円とした。

会費収入、入会金収入に関しては、「お友だち作戦」の実行による会員数の増加を見込んではいないが、高齢者（70 歳代）の増加も想定されることから、純増約 170 名程度の見込みとしている。また、平成 29 年度には永年会員への寄付のお願いが奏功し寄付金収入の増加につながったが、平成 30 年度は減額の見込みとなっている。

3. 経常費用

(1) 事業費

出版事業の直接費として 12,140 千円、支部事業費に 21,122 千円、上高地山岳研究所の維持費用として 7,400 千円を計上した。出版事業費に関しては、平成 29 年度予算に比べ、会報の発送方法の変更に伴う通信費などの経費削減効果の継続を見込み、百万円近い減額を見込んでいる。支部事業費については、全国各支部における独自事業が活発化していることから、本部からの助成金は減額しているものの、支部での募金活動などによって事業費は増加傾向にあり、全体としては 673 千円の微増となっている。家族登山普及事業予算については平成 29 年度の「親子で楽しむ山登り」のサイト構築が一段落したことを受け、少額の予算計上となっている。この結果、事業費は昨年に比べ総額で約 12,344 千円の減少となる見込みである。

(2) 事業管理費と管理費

事業管理費として 20,380 千円、法人全体に係る管理費として、4,500 千円を見込んでいる。事業管理費の内訳は、3 つの公益事業と共益事業に配分した、職員の給料手当と福利厚生費、及び支払手数料などで事業費の一部を構成する。管理費は、主に本部事務所の管理に係る費用であり、経費の節減などにより費用の圧縮を図り昨年度と同額を計上した。以上の改善策を実施することによって、経常損益（当期経常増減額）は、41 千円の黒字となり、ここ数年のたゆまぬ努力が実現する見込みである。

4. 資金調達及び設備投資の見込み

上高地山岳研究所において、屋根外壁塗装の更新として 3,100 千円の設備投資を見込んでいる。この資金は、長期計画準備金を当てる予定である。

以上は、自己資金によるものであり、借入金の計画はない。

平成30年度予算 (対前年比較)

平成30年4月1日から31年3月31日まで

単位千円

科 目	平成30年度 予算	平成29年度 予算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5	5	0
特定資産運用益	10	20	△ 10
受取入会金	4,500	4,300	200
受取会費収入	54,000	52,000	2,000
受取準会員入会金	500	500	0
受取準会員会費	600	600	0
事業収益	12,700	13,040	△ 340
受取補助金等	1,550	1,591	△ 41
受取寄付金等	14,000	22,597	△ 8,597
雑収益	2,800	6,780	△ 3,980
経常収益計	90,665	101,433	△ 10,768
(2) 経常費用			0
事業費	86,524	98,468	△ 11,944
出版事業費	12,140	13,140	△ 1,000
図書管理事業費	6,000	6,000	0
調査研究事業費	1,520	1,630	△ 110
指導研究事業費	300	260	40
山岳環境保全事業費	400	240	160
支部事業費	21,122	20,449	673
高尾の森づくり事業費	2,550	2,300	250
ユースクラブ事業費	2,000	2,300	△ 300
海外事業費	200	200	0
海外登山助成金	500	500	0
山岳研究事業費	7,400	9,210	△ 1,810
ミニ水力発電事業費	222	190	32
家族登山普及事業費	210	9,425	△ 9,215
その他事業費	11,180	10,824	356
事業管理費	20,380	21,800	△ 1,420
管理費	4,500	4,500	0
経常費用計	90,624	102,968	△ 12,344
当期経常増減額	41	△ 1,535	1,576
当期一般正味財産増減額	41	△ 1,535	1,576

